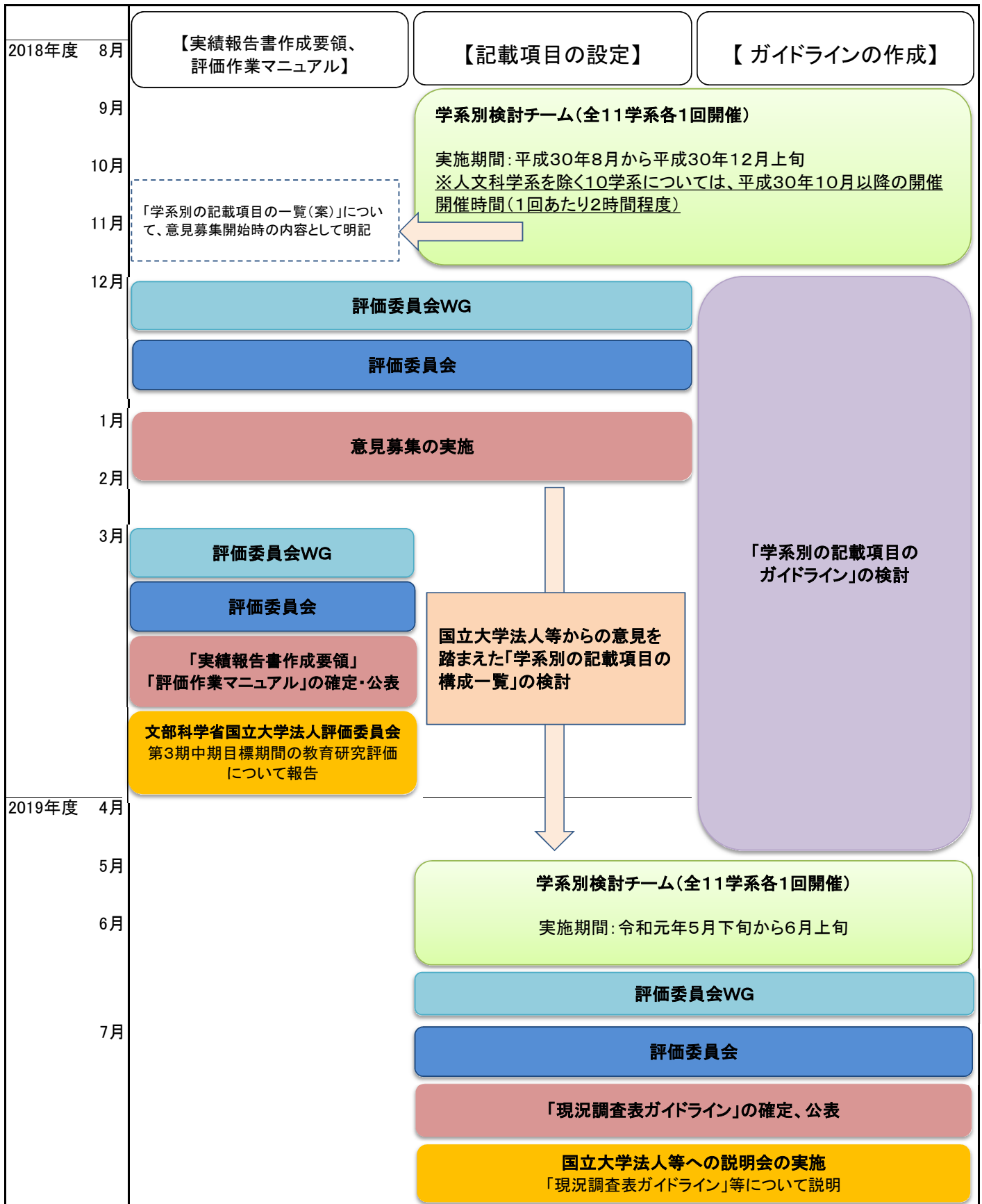


学系別検討チーム実施スケジュール

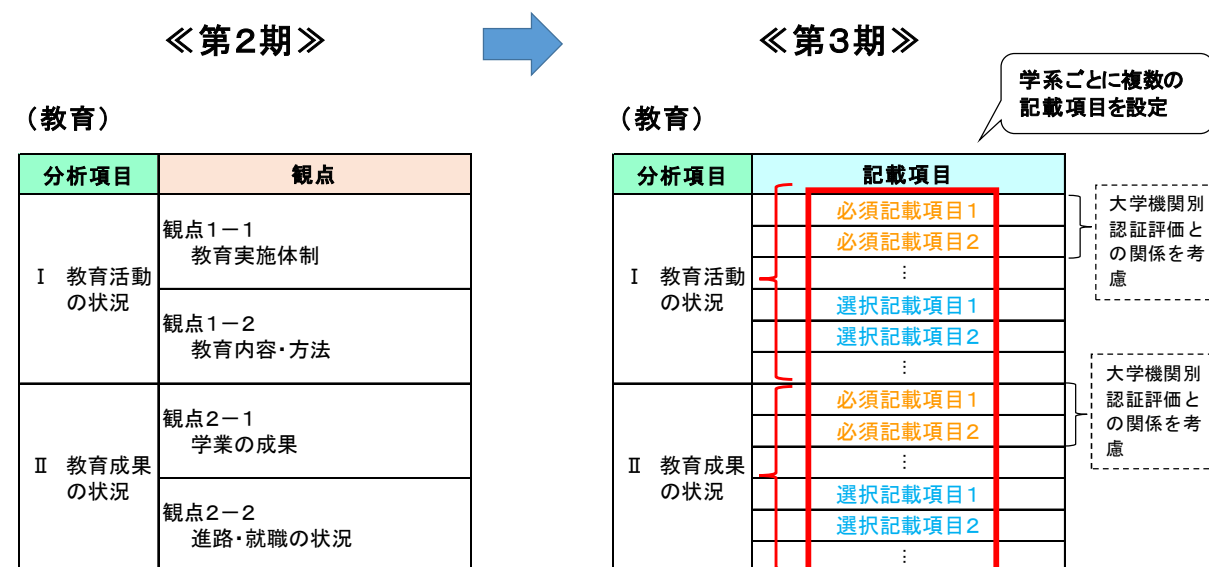


《参考：分析項目の構成の見直し》

●学系別の記載項目の設定

第2期中期目標期間の教育研究評価における「学部・研究科等の現況調査表」では、分析項目・観点ごとに、具体的な記載内容や根拠となる資料・データをどのように示すかは各国立大学法人等に委ねていたため、国立大学法人等からのアンケートの回答において「何を記載すべきか迷った」との意見や、評価者からのアンケートの回答においても「記載内容が多様で判断が難しい」との意見があったことなどを踏まえ、「学部・研究科等の現況調査表」の記載内容について一定の標準化を図るため、各分析項目の下に学系別の複数の「記載項目（以下、「学系別の記載項目」という。）」を設定します。

【第3期中期目標期間 教育研究評価 分析項目の構成イメージ（教育の場合）】



「学系別の記載項目」に関する意見

1. 国立大学法人等への意見募集における意見

＜募集期間＞

平成31年1月7日（月）～2月6日（水）（提出方法：郵送、電子メール、FAX）

※ この意見募集は、平成31年3月に公表した「実績報告書作成要領」及び「評価作業マニュアル」を決定する際に実施したもの

＜「学系別の記載項目」に関する意見＞

- ・ 「分析項目Ⅱ 教育成果の状況」について、選択記載項目の「学生による社会貢献」が工学系のみ記載があるのはどうか。他の学系でも該当する項目のように思われる。
- ・ 「保健系」の記載項目において、「教育」については「地域連携による教育活動/産官学連携」を、「研究」については「産官学連携による社会実装」を選択記載項目として、追加していただきたい。
- ・ 大学共同利用機関の教育・研究における重要な取組である「共同利用・共同研究による大学等への貢献」が記載されていないため、一覧に加えるべきではないか。
- ・ 大学共同利用機関については、研究だけでなく、大学の教育機能等の強化への貢献の役割も求められており、この点を特筆して記載するための記載項目が「研究の水準」に関する現況調査表の構成一覧になく、記入が難しい作りになっている。大学共同利用機関向けに記載項目を用意するなどの措置について検討願いたい。
- ・ 教育関係共同利用拠点に認定された施設に係る共同利用の活動及びその成果の状況に関しては、記載項目を明示する、または別様式にするなど、当該拠点の性質を考慮した評価が行われるよう配慮願いたい。

2. 国立大学法人評価委員会総会における意見

＜概要＞

平成31年3月22日（金）に開催された国立大学法人評価委員会総会（第61回）において、当機構から「第3期中期目標期間における教育研究評価」の説明を行ったところ、国立大学法人評価委員会委員から意見があった。

＜「学系別の記載項目」に関する意見＞

- ・ 「教育の質の保証・向上」が選択記載項目になっているが、各認証評価機関も含めて大学は必須と捉えているのではないか。
- ・ 大学側の負担を少なくするというのであれば、「教育の質の保証・向上」についても必須記載項目にしておいた方がよいのではないか。
- ・ 選択記載項目「国際的な連携による研究活動」については、グローバル化への対応が重要になっている。必須記載項目にすることによって、このことに関するインセンティブが大学側に生じるのではないか。
- ・ 大学共同利用機関においては、「研究資料等の共同利用」は選択記載項目ではなく、必須記載項目になるのではないか。